

事業評価						
事業名	白い森おぐにの環境と食からつながる関係人口創出拡大事業					
事業年度	令和3年度					
事業期間	R3年度～R5年度					
地方創生 推進交付金 事業費	交付対象事業 総額	72,615,000円				
	令和3年度計画額 (交付予定額)	22,615,000円 (11,307,000円)				
	令和3年度実績額 (交付額)	22,042,910円 (10,928,500円)				
重要事業 評価指標 (KPI)	指標名	事業開始前 (計画策定時点)	事業終了時 目標値	R3年度 目標値	R3年度 実績値	R3年度 達成状況
	本事業におけるプログラム参加者数	0	80	40	53	達成
	本事業における個別プロジェクト件数	0	5	1	1	達成
	移住者数	49	69	49	63	達成
	町内企業新卒者雇用数	28	36	28	34	達成
所管課評価	達成状況	1	← 1 目標以上に達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった			
	達成状況 の要因	各事業において、民間事業者との連携やプロモーションの展開等により効果的な事業周知、参加者確保が得られ、移住や雇用にも繋がった。				
	課題等	参画する町内事業者や町民が限定されないよう、さらなる展開が必要である。				
	今後の 取組の方針	さらなる関係人口の創出、拡充のために事業を発展的に継続していく。				
委員評価						
・ 目標以上に達成できており評価する。今後も継続できるよう事業に取り組んでいただきたい。						

地方創生推進交付金を活用した 取組の状況について

- ・白い森おぐにの環境と食からつながる関係人口創出拡大事業
2021年度分

令和4年10月11日

小 国 町

白い森ブランド戦略室

首都圏や地方都市をターゲットとした関係人口創出、自治体間等の連携事業

楽天イーグルス復興マルシェ（宮城県仙台市）

東北の魅力発信と地域を応援を目的に、楽天イーグルスが開催する「がんばろう東北シリーズ」に出展し、白い森おぐにのPRと特産品販売を実施

- R3.6.18（金）～ 20（日）
* 荒天のため6/19中止
- 売り上げ：125,380円
- 人気商品
： 白い森の白いわらび餅、
猫じゃらし、たかきびうどん、赤パンツ



その他プロモーション

- 雑誌掲載
「女性セブン」 11/11発売号（町・ふるさと納税のPR）
「月刊CARELL」 10/20発売号（町・ふるさと納税のPR）
- WEBサイト
にいがた経済新聞 10月掲載予定（町・ふるさと納税のPR）



白い森サステナブルデザインスクールによる関係人口創出事業



「サステナビリティ」「暮らし」「ローカルビジネス」「地域づくり」などに関心をもつ都市部住民と町民がともに、白い森おぐにならではの魅力や豊かさを未来へつなげていくためのデザインを考える講座。受講生には自身と小国との関わり方を模索してもらい、継続的な繋がりをもち、関係人口の創出拡大、持続可能な地域コミュニティの形成を目指す。

キックオフイベント（白い森まるごと塾とのコラボ）

白い森サステナブルデザインスクールのメイン講師である雑誌『ソトコト』編集長の指出一正氏による講話とワークショップを開催。

- 日 時：令和3年6月3日（木） 18：30～20：30
- 参加者：オフライン参加 14名 * 置賜地域における新型コロナウイルス感染拡大の影響により、町内在住者のみとした
オンライン参加 約25名

講座カリキュラム

- 説明会：6月30日（水）会場・オンラインあわせて50名以上が参加

- 第1回講座（小国町内）
：7月17日（土）～18日（日）受講生14名のうち7名参加
町紹介、町中あるき、おぐに探訪、ワークショップ



- 第2回講座（オンライン）
：9月8日（水）受講生14名のうち11名参加
小国ゲストのスピーチ、ワークショップ

- 第3回講座（小国町内）
：10月8日（金）～10日（日）受講生14名のうち12名参加
弟子入り体験、イベント参加、森林セラピー、ワークショップ



- 第4回講座（東京都内）
：11月23日（祝）受講生14名のうち11名参加
小国町との関わり方プラン発表、LittliOguni（小国を感じる装飾、食の提供）

白い森おぐに食材PR業務

本町の魅力ある食材を首都圏及び東北在住の方に広く周知することで、「白い森おぐに」の認知度向上、ファンの醸成、継続的な特産品の購入や観光交流等につなげる。

○白い森から届く、こだわり食材フェア

- 期 間：11月29日(月)～12月4日(土)
- 会 場：トレジオン東京赤坂店およびエスパル仙台店
- メニュー：

①小国食材を使ったスペシャルなお通し (158+115)	計273
②小国で育った米沢牛のローストビーフ丼 (9+21)	計 30
③デュークセルソースとさくらんぼ鶏のパスタ (16+29)	計 45
④小国きのこことさくらんぼ鶏のトマトオムライス (7+25)	計 32
⑤やみつき！無限きのこ (20+26)	計46
⑥やまがた地鶏のタタキと名取せりのカルパッチョ (9+17)	計26
⑦小国で育った米沢牛のローストビーフ (10+5)	計15
⑧もちきび&たかきび入り 味噌焼きおにぎり (12+16)	計28
⑨桜川酒造 日本酒各種 (7+5)	計12
合計 540食	

○白い森おぐにファン交流会

- 期 日：12月4日(土) 19:30～21:30
- 会 場：トレジオン赤坂店
- 参加人数：一般参加 30名、ゲスト町民 4名、関係者 12名 計46名
- 内 容：町紹介、ゲスト紹介、お食事交流タイム、お楽しみ抽選会



白い森おぐにフードツーリズム

本町の食や食文化、地域ならではの暮らしをテーマとした食体験プログラム等を実施することで、地域資源の魅力と豊かさを都市生活者へと波及し、さらに町民との交流の場を設けることで協働関係を生み出しながら、フードツーリズムの推進、食による関係人口の創出拡大を目指す。

○おいしいにっぽんフェス

- 期 日：11月3日(祝)
- 会 場：新宿住友ビル 三角広場
- 内 容：白い森おぐにと小国食材のPR
(Insta・fbフォローで特産品が当たる抽選実施)
- 来場者数：延べ 1,913人
- Insta登録者数：約400人



○ZOOMオンラインツアー

①ようこそ「山形県小国町」

～地鶏鍋を囲んで、白い森・小国の暮らしにショートトリップ～

- 期 日：12月12日(日)
- 内 容：やまがた地鶏鍋の料理教室
食文化・マタギ文化の紹介
つる細工のアトリエ探訪、鍋を囲んで交流会
- 参加者：19人



②地鶏鍋を囲んで、白い森おぐにを楽しむオンラインツアー

*コロナ禍により、リアルツアーをオンラインツアーに切り替えて実施

- 期 日：2月11日(祝)
- 内 容：食文化・マタギ文化の紹介、雪国の冬の楽しみ紹介(巨大かまくら、雪のお城)
- 参加者：17人

白い森ローカルビジネス創出塾

本町の優れた地域資源を活用したビジネスプランや、町外の事業者と連携したビジネスプラン等、新たなローカルビジネスプランを発掘するとともに、事業化に向けた支援を行うことで、町民が主体的にチャレンジする意欲を刺激し、ローカルビジネスをととした関係人口や交流人口の創出を図る。

■ 新規受講生の募集

- 1) 町広報、SNS等による周知
- 2) 白い森まるごと塾」と連携した募集説明会の開催
→応募者 4名（うち支援実施は3名）

■ プランの実現に向けたハズオン支援

- 1) 電話やオンラインツールでの会議
- 2) 現地での視察および企画会議、業務改善に向けたアドバイス
- 3) 商品・サービスの実現化、付加価値向上推進補助金の活用支援

○おぐにマルチワーク事業組合 組織づくり、TABETAIHOUSEの活用
○小国町農業振興公社 新商品「キャンプ餅」の開発
○ほぐしやシェリー 開業支援（事業設計、制度紹介）

■ 2期生への継続支援

- 1) 販売促進につながる機会支援、販売先に関する情報提供
- 2) ブランディング支援
- 3) さらなる事業のステップアップに向けた支援

○麺屋雪国 メニュー見直しによるオペレーション改善と客単価アップ
○YOKAMOS コワーキングスペース整備、環境省補助事業の実施支援



地方創生推進交付金を活用した 取組の状況について

- ・地域連携DMOを中心とした観光地域づくり推進事業
2021年度分

令和4年10月11日

小 国 町

観 光 経 済 室

地域連携DMOによる旅行商品の企画販売事業

旅行商品：ブナの森リトリートツアー

- 期間：6月から10月の間で、月2回（水・土）
- 場所：森林セラピー基地「ブナの森温身平」
- 内容：森林セラピー体験、ヨガ体験
*それぞれ半日コース、1日コースあり
*いずれもセラピー弁当、温泉入浴券付き
- 参加状況：セラピー体験 37人
ヨガ体験 28人



アクティビティ発掘・ブラッシュアップ事業

DMO関係者が小国の観光スポットを視察、体験 7/7~8

- 視察先：黒沢峠、きんたけ工房、梅花皮荘、
森林セラピー基地温身平、マタギの郷交流館
りふれ木工館、カクナラ小屋までの3本吊り橋

お土産品開発事業

構成団体2市3町それぞれのデザインの手ぬぐいを制作、販売

（小国町は温身平、マタギをイメージしたデザイン）

13店舗で税込1,320円で販売し、462枚販売（うち小国100枚）

特典店舗に持参すると特典が受けられる仕掛け（割引やドリンクサービス等）



地域連携DMOによる旅行商品の企画販売事業



ライク・ア・バードokitama事業

【やまがたアルカディア観光局 presets ライク・ア・バードokitama】について

旅のその先へ。イザベラ・バードのように、軽やかな1羽の鳥のように”
19世紀末、明治初期の日本にひとりの英国人女性旅行作家が訪れました。
彼女の名前はイザベラ・バード。海外旅行が一般的ではなく、女性の自由が
今より遥かに制限された時代にもかかわらず、軽やかにしなやかに世界中を
飛び回った女性でした。

その道中を記録した「日本奥地紀行」の中で「東洋のアルカディア（桃源郷）」と称賛された山
形県・置賜地方を舞台に、「現代のイザベラ・バード」と呼びたくなるような、新しいライフス
タイルをあゆむ女性たちが旅します。四季の移ろいとともに、アルカディア地域を訪れ、旅の様
子を収めた短編映像を弊社 web サイトや SNS で公開していきます。ソトコトオンラインでは、旅
の行程を追ったレポート記事を掲載。



【招聘ゲスト、撮影時期・動画公開・再生回数（6/13 現在）について】

- ①【白鷹町】R2.3.25～3.27 中川正子（写真家）動画公開 R3/06/28 3183 回
- ②【飯豊町】R3.5.14～5.16 成瀬友梨（建築家）動画公開 R3/08/12 1670 回
- ③【長井市】R3.8.29～8.31 田中元子（建築コミュニケーションライター）動画公開 R3/11/06 1235 回
- ④【南陽市】R3.11.9～11.11 市原えつこ（メディアアーティスト）動画公開 R4/01/12 795 回
- ⑤【小国町】R4.2.14～2.16 四角友里（アウトドアスタイル・クリエイター）動画公開 R4/03/26 2067 回



第一弾
写真家中川正子さ
んと訪ねる、雪解
けを待つ白鷹町



第二弾
建築家・成瀬友梨さ
んと訪ねる、新緑が
芽吹く飯豊町



第三弾
グランドレベルの田中
元子さんと訪ねる、暑
さ忘れる長井市



第四弾
メディアアーティ
スト市原えつこさ
んと訪ねる、紅葉
舞う南陽市



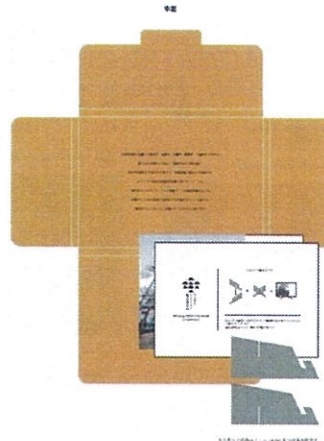
第五弾
アウトドアスタイル・
クリエイター・四角友
里さんと訪ねる、白い
森に囲まれる小国町

総合監修・ナビゲーター：指出一正（株式会社ソトコト・プラネット）

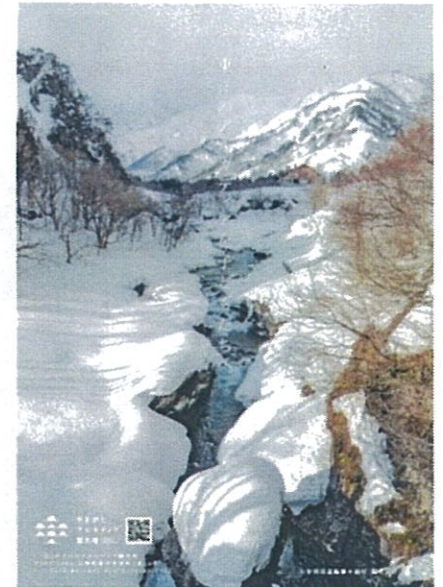
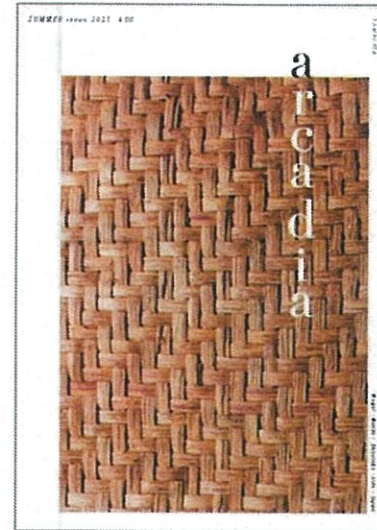
地域の観光客受け入れ体制の整備事業

季刊誌、パンフレット、クリアファイル、卓上カレンダー、ポスター制作

- 季刊誌：VOL. 8は小国特集
* 町内店舗、道の駅等に設置済み
- パンフレット：小国町を追加したパンフレット、広域マップ作成
- クリアファイル：小国町版を制作（温身平の写真）
- ポスター：冬の飯豊梅花皮荘の写真
- ブランドフォト撮影
- SNS情報発信



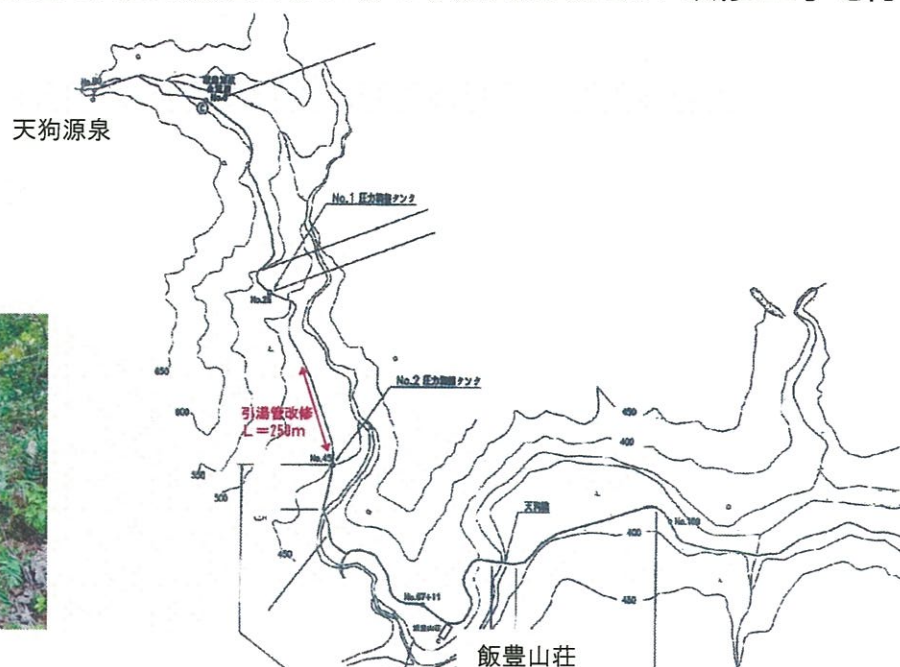
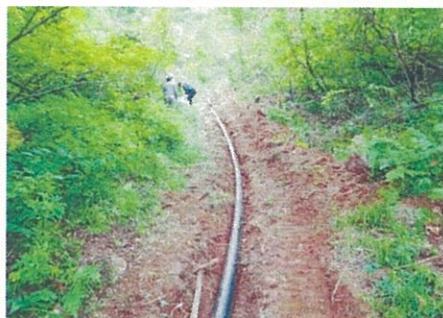
- 4月【白鷹町】薬師ザクラ
- 5月【飯豊町】白川湖の水没林
- 6月【長井市】三瀬溪谷
- 7月【白鷹町】萩野大日堂の紅花
- 8月【小国町】玉川溪谷
- 9月【長井市】熊野山
- 10月【南陽市】十分一山/南陽スカイパーク
- 11月【白鷹町】白鷹山から置賜盆地と最上川
- 12月【南陽市】高ツムジ山から雲海
- 1月【長井市】ヤノハエロ
- 2月【飯豊町】冬の散居集落
- 3月【小国町】梅花皮荘と飯豊山



飯豊温泉引湯管改修工事

飯豊温泉はクマが傷を癒していたところをマタギが発見したと言い伝えられ、麓の3つの施設（飯豊山荘、梅花皮荘、川入荘）は貴重な観光拠点でもあるが、源泉から供給している引湯管の老朽化によりお湯が出ない等の状況であるため、改修工事を行った。

- 工事場所：小国町大字小玉川字湯沢地内
- 工期：令和3年8月25日～10月29日
- 施工業者：パイプライン
- 工事費：14,850千円
- 工事概要：GNGAR管65mm 250m敷設



その他

コロナのため中止となった旅行商品（小国町分）

- つる細工講習会withギャラリーかご／1/19～21／梅花皮荘
- 横根でべそ山トレッキング／2/5
- 雪国に伝わる雪上歩行具 かんじき作り体験／2/12～13

旅行商品（小国町分）

- 6/15 ブナの森リトリートツアーⅠ ～癒しの森温身平で森林セラピー体験（～10月）
- ～10月 ブナの森リトリートツアーⅡ ～森林セラピー基地でヨガ体験
- 7/2～3 飯豊連峰山形県側合同山開き（飯豊町・小国町合同事業）
- 7/16～18 あけび細工withギャラリーかご2泊3日
- 8/27 ブナの森リトリートツアーⅠ ～癒しの森温身平で森林セラピー体験
- 9/10～11 オレンジページ 収穫の秋！おぐにの食めぐりと、800年の歴史をもつ名湯・飯豊温泉を満喫ツアー
- 10/29 第4回 越後米沢街道・十三峠トレッキング（大久保峠～宇津峠～諏訪峠）
- 10/15～16 ～自然とつながる“知恵”に触れるEnglish Camp～ サバイバル・ブッシュクラフト（初級）
- 10/9・29 ～マッチを使わない火起こし&バーベキューの1日～イングリッシュ・デイ・キャンプ
- 10/10・30 ～森で木を探すことから始まるスプーンづくり～イングリッシュ・デイ・キャンプ

（以下、コロナ関係等により中止）

- 5/28～29 倉手山・石転び沢出合いトレッキングツアー
- 6/4～5 朝日連峰山開き 登山（1泊2日）A、B、Cコース

※ 8/3豪雨により長井ダム周辺のアクティビティ（水陸両用バス、SUP、水上自転車、秋の遊覧船）の実施不可

ライクアバードokitamaフォーラム2022

関係人口創出型映像プロジェクト「ライクアバードokitama」。本プロジェクトに関わった方々が一堂に会し、全5編の動画完成の報告と各市町で活躍する女性の交流を深める目的にフォーラムを開催した。

- 10/1(土) 第1部 完成報告会 15:00～16:30 第2部 交流会 17:00～18:30 会場：タスパークホテル
- 出演 女性ゲスト5名、指出一正氏（総合監修・ナレーター）、松田朋春氏（映像ディレクター）、各エリアで活躍する女性
- 参加者 アルカディアエリア行政関係者、やまがたアルカディア観光局理事・戦略会議メンバー

地方創生推進交付金を活用した 取組の状況について

・移住定住・人材確保戦略的展開事業 2021年度分

令和4年10月11日

小 国 町

政 策 企 画 室

セミナーの開催や各種フェアへの出展

移住フェアへの出展

山形県や（一社）移住・交流推進機構（JOIN）等が主催する各種移住フェアへ出展し、移住希望者とのマッチングなどを図る。

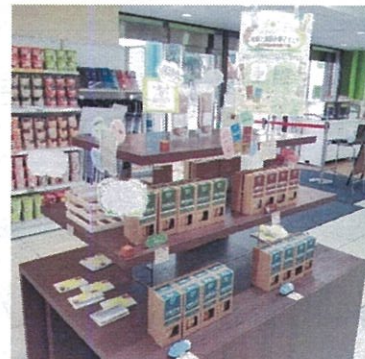
- JOIN移住・交流＆地域おこしフェア2022：10月2日（土） 主催：（一社）移住・交流推進機構
新宿住友ビル三角広場会場で開催 相談者10組13名
- くらすべ山形！移住・交流フェア：11月28日（日） 主催：（一社）ふるさと山形移住・定住推進センター
東京交通会館会場とオンラインのハイブリッドで開催 相談者6組9名
- 第4回東北U・Iターン大相談会：1月9日（日） 主催：ふるさと回帰支援センター
東京交通会館会場とオンラインのハイブリッドで開催 相談者4組6名
- やまがたハッピーライフカフェ（オンライン）：1月23日（日）、山形県置賜地域移住交流推進協議会主催、
全体参加者15名



小国町地域資源活用域学連携事業

- ・早稲田大学を中心とした都心の学生による合宿等のプログラムを実施できなかったため、来年度に繋げるようオンラインでの打ち合わせや交流会を実施。また、大学やサークルの活動が制限されていたため学生の自主的な来町をサポートした。
- ・新潟大学のダブルホームと連携し、オンライン交流会やフィールドワーク等を実施した。

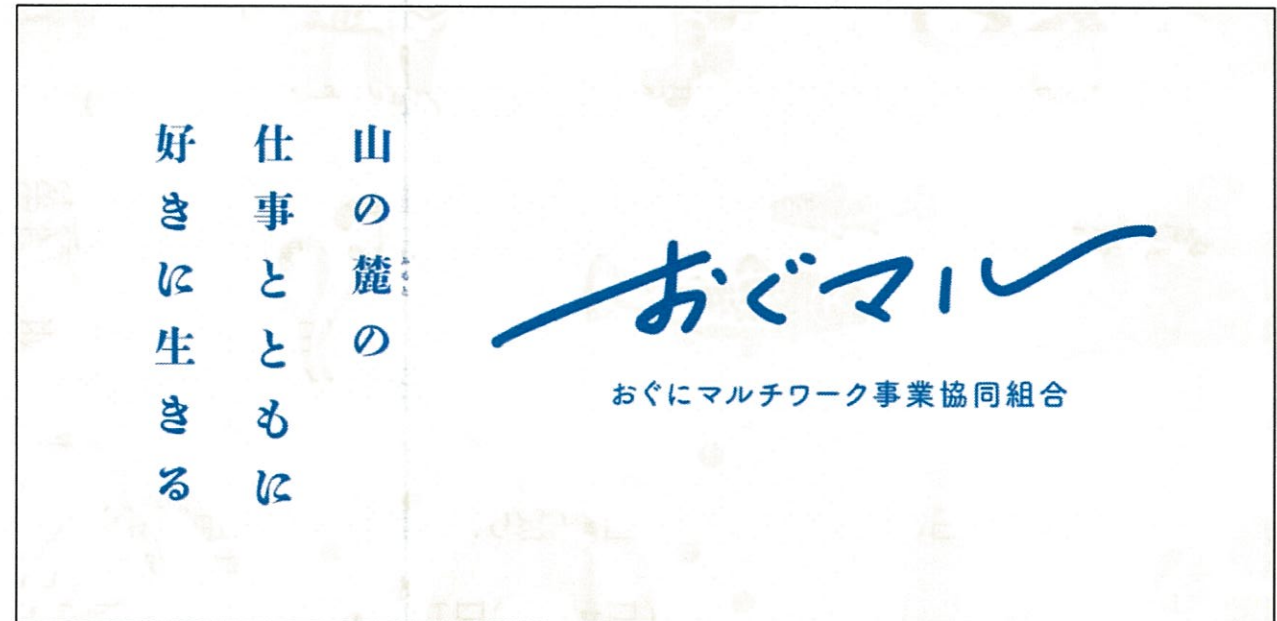
- 早稲田大学等との活動 : オンラインミーティング 3 回 (5月21日、6月11日、8月4日)
オンライン交流会 1 回 (3月24日)
学生な自主的な活動 (小国町来町) 2 回 (10月13日～15日、11月13日～14日)
- 新潟大学との活動 : オンライン交流会 1 回 (7月10日)
フィールドワーク 2 回 (6月26日、12月26日)
地域の方との交流会 1 回 (3月19日)
- 山形大学との活動 : 昨年度、地域文化創生演習を受講した学生が小国町の雑穀を使用したレシピ集「ざっこクック」を作成した。また、山形大学内の購買で小国町の雑穀等の物販を行った。
- 地域づくりインターンの会 : オンライン交流会 1 回 (12月18日 : 学生の地域の方との顔合わせ、来年度の事業について)



小国らしい暮らし方・働き方モデル構築支援業務託

総務省の「特定地域づくり事業協同組合」の制度を活用して、運営母体の設立支援を行いました。

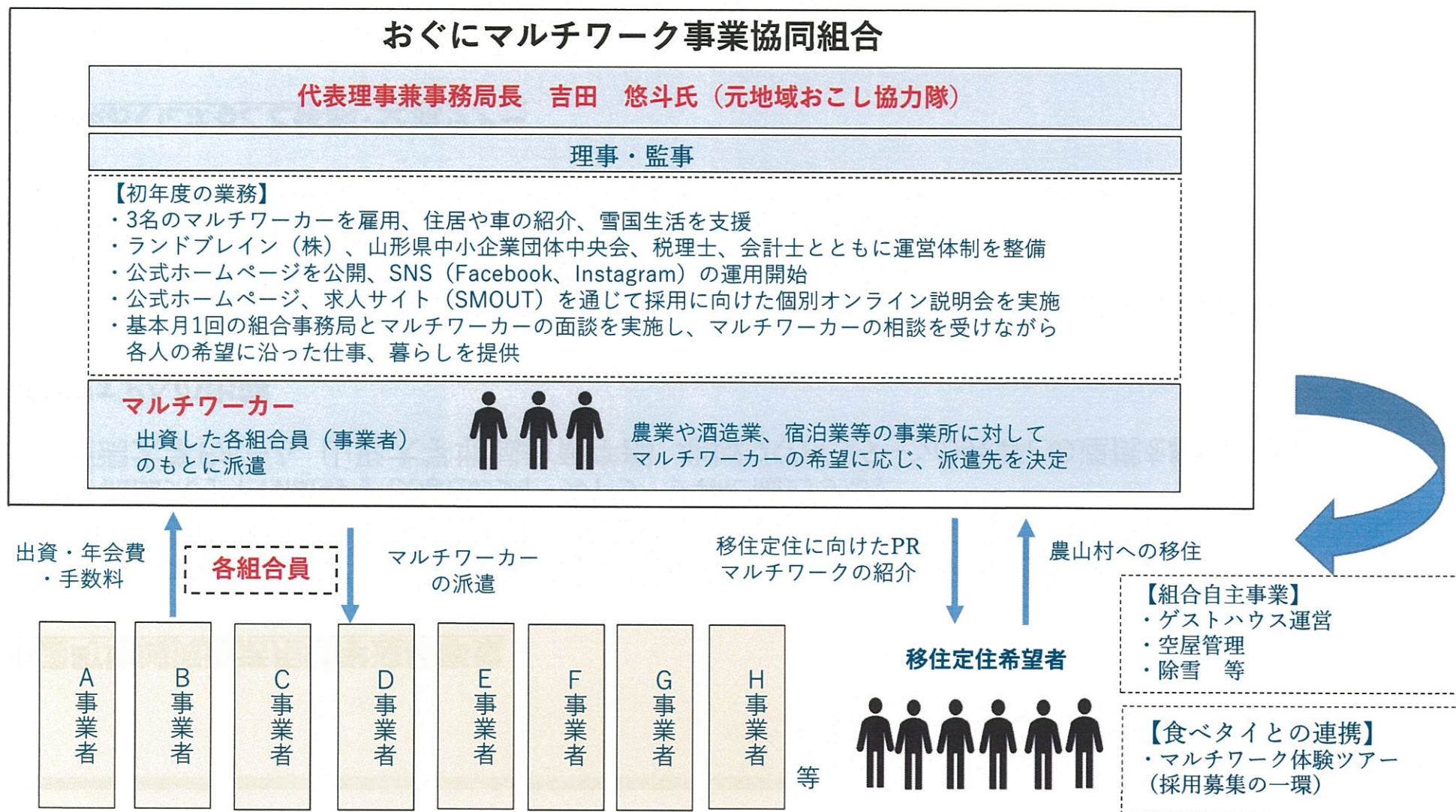
- 委託先
ランドブレイン（株）仙台事務所
- 実施内容
 - ・中小企業等事業協同組合の設立支援
 - ・法人設立登記支援
 - ・特定地域づくり事業協同組合としての申請・認定支援
 - ・人材派遣業許認可手続き支援
 - ・組織体制づくり、Webサイト等の運営支援
- 設立フロー
 - ・4～7月 発起人・理事の選定
事業計画の作成
 - ・8月 創立総会
 - ・10月 組合設立認可
法人登記完了
 - ・11月 組合認定
事業開始



派遣イメージ		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職員A		宿泊業			接客業				ガス・灯油小売業				
職員B		接客業			宿泊業				ガス・灯油小売業				
職員C		農業			きのご栽培業				清酒製造業		スキー場管理		
職員D		金属製品製造業					清酒製造業			清酒製造業			
職員E		金属製品製造業			農業				薪・ペレット燃料小売業		清酒製造業		

町・地域等の受入機能のサポート他、定住・定着に係る取組み

小国らしい暮らし方・働き方モデル構築支援業務託



小国町地域資源活用域学連携事業

- ・早稲田大学、法政大学、新潟大学などとの繋がりを中心としつつ、小国を拠点として学生同士の横の連携の創出も図る合宿を展開（実施済：秋合宿2回、実施予定：冬合宿）
- ・早稲田大学やN高等学校などのフィールドワーク等に協力する。
- ・新潟大学Fホーム、山形大学地域教育学部、地域づくりインターンの会等との連携を継続する。

移住フェアへの出展

- ・ 7月31日 おいでや！いなか暮らしフェア2022大阪（大阪OMMビル） 相談者8組9名
- ・10月 9日 くらすべ山形！移住・交流フェア（ふるさと回帰支援センター）
- ・ 1月14日 JOIN移住フェア参加予定（東京ビックサイト）参加予定
- ・ 1月22日 やまがたハッピーライフカフェ（ふるさと回帰支援センター）参加予定

白い森おぐにまるごと体験・交流ツアー

- ・10月下旬 オンライン交流会実施予定
「テーマ：田舎暮らしの楽しさを共有（仮）」
- ・11月中 体験・交流ツアー実施予定
- ・冬期間についても、雪や手仕事をテーマとしたオンライン1回、ツアー1回を計画中
- ・実施状況や写真等については、webやSNS等により発信



地方創生推進交付金を活用した 取組の状況について

高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト事業
2021年度分

令和4年10月11日
小国町教育委員会
高校魅力化推進室

都市部等で中学生親子に向けた合同説明会「地域みらい留学フェスタ」



オンラインによる「地域みらい留学フェスタ」への参加（880,000円）

（一財）地域教育魅力化プラットフォームが実施する「地域みらい留学」制度を活用し、令和4年度から山形県立小国高校へ入学を希望する県外中学生に向けた説明会を実施した。

開催日	予約者数（名）	備考
6月5日(土)、6日（日）	93	・ テーマ別説明会 ・ 学校個別説明会
7月3日(土)、4日（日）	80	・ テーマ別説明会 ・ 学校個別説明会
7月31日（土）、8月1日(日)	121	・ テーマ別説明会 ・ 学校個別説明会
8月28日(土)、29日（日）	195	・ テーマ別説明会 ・ 学校個別説明会
10月3日(日)	46	・ 6分間プレゼン ・ バーチャルOS



- ・ 535名の中高生に小国高校をPR
- 【R4留学生の状況】
- ・ 地域みらい留学 365 3名
- ・ 白い森留学 7名

地域と高校をつなぐ人材を「魅力化コーディネーター」として育成・配置

小国高校魅力化コーディネーターの確保（7,458,893円）

魅力化コーディネーターとは、山形県立小国高校における教育や教育環境をより魅力あるものとするため、学校内（生徒、教員等）と、学校外（地域住民、地域内外の教育資源、行政等）をつなぐ人材を2名配置した。



小国高校魅力化コーディネーター2名
・阿部宣行コーディネーター（中央）
・坂口裕紀コーディネーター（右）
（左は地域留学コーディネーターのブライアン・デイ氏）

(株)リクルート社「スタディサプリ」使用料 (331,500円)、ポケットwi-fi使用料 (132,000円)

山形県立小国高校は、本町の保小中高一貫教育における最高学府として、「国際理解」、「情報」においても特色ある教育を
実践しており、1人1台のiPadにより、(株)リクルートが運営管理している「スタディサプリ」を活用した。(R4からはchromebook)
また、オンラインでの募集活動や、保護者との個別面談等に使用するポケットwi-fi (1台) を使用した。



スタディ
サプリ

参考：R4地域みらい留学合同説明会状況

開催日	予約者数（名）	備考
6月4日(土)、5日(日)	117	・テーマ別説明会 ・学校個別説明会
7月9日(土)、10日(日)	65	・テーマ別説明会 ・学校個別説明会
8月6日(土)、7日(日)	57	・テーマ別説明会 ・学校個別説明会
9月3日(土)、4日(日)	48	・テーマ別説明会 ・学校個別説明会
9月24日(土)	9	東京対面開催



- ・ 296名の中高生に小国高校をPR
- 【R5留学希望者の小国高校見学状況】
- ・ 地域みらい留学365 4名
- ・ 白い森留学 12名

参考：R4 白い森未来探究学



白い森未来探究学の講師謝礼など（予算額：568千円）

山形県立小国高校は、地域学習とキャリア教育を複合させた「白い森未来探究学」カリキュラムを構築しており、1～3年生まで、地域に密着した実践的な教育を行っている。

知見や経験を活かして、進路実現へ発展させていく新しい教育を行ううえで必要な、講師への謝礼や移動費を見込んでいる。



白い森未来探究学
(地域に浸る講座)



白い森未来探究学
(アントレプレナーシップ教育)

地方創生推進交付金を活用した 取組の状況について

・淡水魚放流事業 2022年度分

令和4年10月11日

小 国 町
農 林 振 興 室

アユ・イワナ・ワカサギの放流

荒川、横川等において、淡水魚の計画的な放流を実施することによって豊かな魚群を確保し、町内外から訪れる遊漁者等の交流人口の増加と内水面漁業の振興、及び観光産業の活性化を図ることを目的に実施するもの。

- 期 間：4月下旬～10月末
- 場 所：荒川、横川等 36箇所
- 内 容：

アユ	50kg	(約 7,140尾)
イワナ	200kg	(約 20,000尾)
ワカサギ	420万粒	
- 委託先：小国町漁業協同組合

